特別賞

都市計画道路　東の参拝道線（歴史的地区環境整備街路事業）（日光市）

■表彰対象者：栃木県日光市都市計画課

全景

千人武者行列が通る日光東照宮表参道

事業のあらまし

本路線は、日光東照宮をはじめとする二社一寺への参拝道であり、毎年多数の観光客が訪れる歴史的道すじである。今回、周辺景観との調和に十分配慮し、自然石舗装等により格調高く整備したものである。

事業の効果

二社一寺の参拝道である本路線の整備は、参拝客に潤いと心のやすらぎが与えるものであり、大変好評を博している。毎年弥生祭りには家体（やたい）が練り歩き、地域の行事にも完全に溶け込んでいる。

●延長：760m
●幅員：3m～13m
●全体事業費：402百万円
　うち街路事業費：402百万円
●事業期間：昭和63年度～平成5年度

冬期のスリップ防止も兼ねるミカゲ石の舗装

都市計画道路　深大寺線整備事業（調布市）

■表彰対象者：東京都調布市

全景

歴史的雰囲気のあるみち

事業のあらまし

深大寺地区は、調布市最大のシンボル的な緑とリクリエーションの拠点であり、市民及び都民の憩いの場となっている。

調布市都市計画道路3・5・12号深大寺地区を貫く幹線道路であり、調布市のシンボルとして位置づけられている。

事業の効果

当道路の歩道整備事業は、深大寺地区にふさわしく歴史的雰囲気が感じられ、歩行者優先の安全で快適に楽しく散策できる道路として、市民に親しまれている。

●延長：815m
●幅員：12m
●全体事業費：1,362百万円
　うち街路事業費：1,362百万円
●事業期間：昭和58年度～平成4年度

都市計画道路　小金井久留米線外街路事業（沿道区画整理型街路事業）（東久留米市）

■表彰対象者：東京都東久留米市都市計画部

事業のあらまし

東久留米駅の西口地区は改札口もなく、駅前広場とこれに接続する都市計画道路の整備が急務であった。本市の将来の中心市街地としてふさわしいよう、面整備も含めた検討がなされ、東京都で初めて沿道区画整理型街路事業による整備が採用された。市民が集い、心から愛着が持てるような〝ふれあいの場〟としての都市空間創出を目指し、安全性と景観に十分配慮して整備を行った。電線類を地中化するとともに、地区計画導入による壁面後退で歩道部分をプラス2m確保し、沿道に建築物が建設される際には、市の助成により歩道と一体的に整備されることとなっている。

事業の効果

本事業は、東久留米駅周辺の中心市街地の整備計画と併せて、駅前広場からのびる都市計画道路の2路線（1路線はシンボルロードと位置づけ）及び歩行者の安全と市民の憩いの場の公園等の公共施設を整備したものであり、これにより周辺の建築計画の誘導を促している。

駅西口広場からのびるシンボルロード（まろにえ富士見通り）

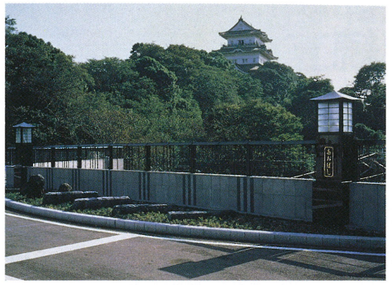
●延長：597m
●幅員：16～18m
●全体事業費：2,769百万円
　うち街路事業費：2,320百万円
●事業施行期間：平成元年度～5年度

全景（小田原城周辺の歴史的景観との調和に配慮したデザイン）

夜景

都市計画道路　小田原早川線街路整備事業（「青橋」架替え事業）（小田原市）

■表彰対象者：神奈川県小田原土木事務所



自然石をならべ、城の石積みの重なりを表現した橋の中央部

事業のあらまし

この事業は、小田原駅周辺の交通混雑解消と鉄道による地域分断解消を目的として整備を行った。特に鉄道を跨ぐ青橋は、幅員狭小で一方通行であったため、これらを解消するため架替えを行った。

事業の効果

駅周辺の交通緩和に大きく寄与するとともに、周辺環境と調和させ、「小田原城」を引き立たせるデザインを施したことにより、広く市民に親しまれている。

●延長：272m
●幅員：15～41.9m
●全体事業費：2,700百万円
　うち街路事業費：2,700百万円
●事業期間：平成元年度～4年度

都市計画道路　高田町通り線街路事業（十日町市）

■表彰対象者：新潟県土木部十日町土木事務所

起点より終点側を望む。明るい近代的な商点街

冬でもブーツで歩ける

事業のあらまし

本路線は、十日町市の幹線道路であるため、交通量が多く、また、沿道は市の中心商店街であり、商店街の活性化のためにも、早急な整備を求められていた。そこで、商店街活性化街路事業として、地元商店街と協力しながら、道路の整備を行った。

事業の効果

この地域は、県内でも有数の豪雪地帯であるため、歩道に無散水方式の融雪装置を導入し、冬期間の通行に配慮したことや、街路灯、街路樹、カラー舗装の整備を行ったことにより、グレードの高い歩行者空間が確保された。

●延長：226m
●幅員：15.0～16.0m
●全体事業費：850百万円
　うち街路事業費：850百万円
●事業期間：平成元年度～4年度

都市計画道路　庄の原佐野線街路事業（大分市）

■表彰対象者：大分県大分市都市計画部

事業のあらまし

本路線は、九州横断自動車道の大分I.C.のアクセス道路として位置付けられており、大分市施行の都市計画事業として、昭和51年度に事業着手して以来15年10ヶ月という長い年月を要して完成した。

事業の効果

この路線の完成により地域住民の生活基盤の向上はもとより、周辺地域への道路網の連絡強化及び安全な交通の確保、さらに大分市の産業経済及び文化の発展に大きく寄与した。

生石椎迫線との交差点から市街地方向を望む

大分インターチェンジより市街地を望む

●総延長：1,935m（新設区間670m、改良区間1,265m）
●幅員：25m
●全体事業費：7,390百万円
　うち街路事業費：7,390百万円
●事業期間：昭和51年度～平成4年度